

◆ 今月のテーマ：情報セキュリティ10大脅威 ◆

情報処理推進機構(IPA)は2月15日、「[情報セキュリティ10大脅威 2016:IPA 独立行政法人 情報処理推進機構](#)」において、2015年に発生したセキュリティインシデントおよび見識者による検討の結果を経て、「情報セキュリティ10大脅威 2016」を発表した。総合ランキングのほか、組織および個人で見た場合の10大脅威がまとめられている。発表された10大脅威は次のとおり。

【組織】

- 第1位 標的型攻撃による情報流出
- 第2位 内部不正による情報漏洩
- 第3位 Webサービスからの個人情報の窃取
- 第4位 サービス妨害攻撃によるサービス停止
- 第5位 Webサイトの改竄
- 第6位 対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加
- 第7位 ランサムウェアを使った詐欺・恐喝
- 第8位 インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
- 第9位 Webサービスへの不正ログイン
- 第10位 過失による情報漏洩

【総合】

- 第1位 インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
- 第2位 標的型攻撃による情報流出
- 第3位 ランサムウェアを使った詐欺・恐喝
- 第4位 Webサービスからの個人情報の窃取
- 第5位 Webサービスへの不正ログイン
- 第6位 Webサイトの改竄
- 第7位 審査をすり抜け公式マーケットに紛れ込んだスマートフォンアプリ
- 第8位 内部不正による情報漏洩
- 第9位 巧妙・悪質化するワンクリック請求
- 第10位 対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加

【個人】

- 第1位 インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
- 第2位 ランサムウェアを使った詐欺・恐喝
- 第3位 審査をすり抜け公式マーケットに紛れ込んだスマートフォンアプリ
- 第4位 巧妙・悪質化するワンクリック請求
- 第5位 Webサービスへの不正ログイン
- 第6位 匿名によるネット上の誹謗・中傷
- 第7位 Webサービスからの個人情報の窃取
- 第8位 情報モラル不足によるサイバー犯罪の低年齢化
- 第9位 職業倫理欠如による不適切な情報公開
- 第10位 インターネットの広告機能を悪用した攻撃

総合と個人で第1位となった「インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用」は昨年も第1位であり、2014年下半年期に一旦減少したが、2015年上半年期にはターゲットが信用金庫や信用組合など地域の金融機関に拡大し、被害はさらに増大したという。ウイルスやフィッシング詐欺により、インターネット・バンキングの認証情報やクレジットカード情報が窃取され、本人になりすまして不正利用されてしまう。

参考記事： マイナビニュース

❖ 今月の豆知識 ❖

最近、空前の猫ブームですが、今月は『招き猫』についての豆知識です。

招き猫の手 **右手**を上げている招き猫は ⇒ 雄猫、**金運・幸運**を招く

左手を上げている招き猫は ⇒ 雌猫、**千客万来**

両手を上げている招き猫は ⇒ 昔は「降参」を意味して嫌われたようですが、「一挙両得」「すべての福を招く」とのことで歓迎される傾向にあるとか

上げている手が高ければ高いほど遠くの福や客を招くともいわれています。

